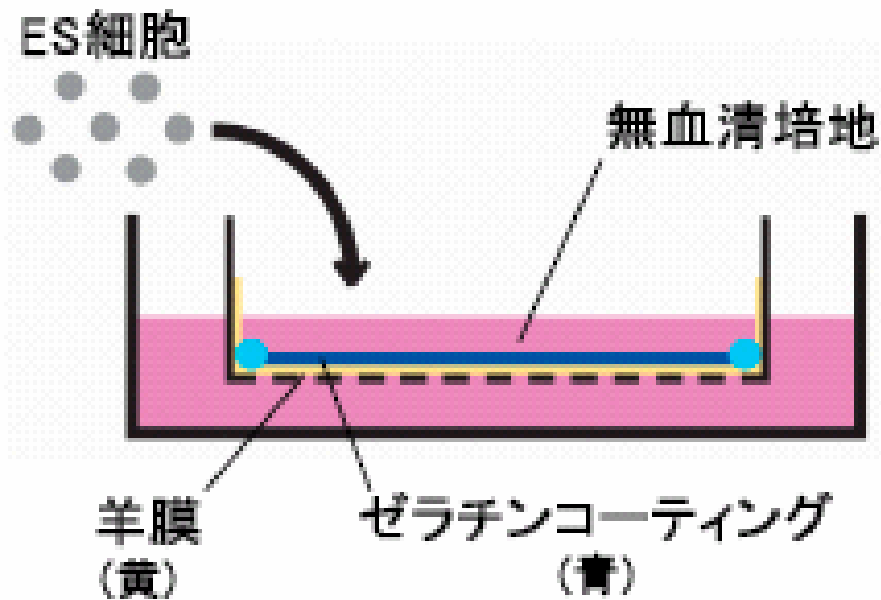
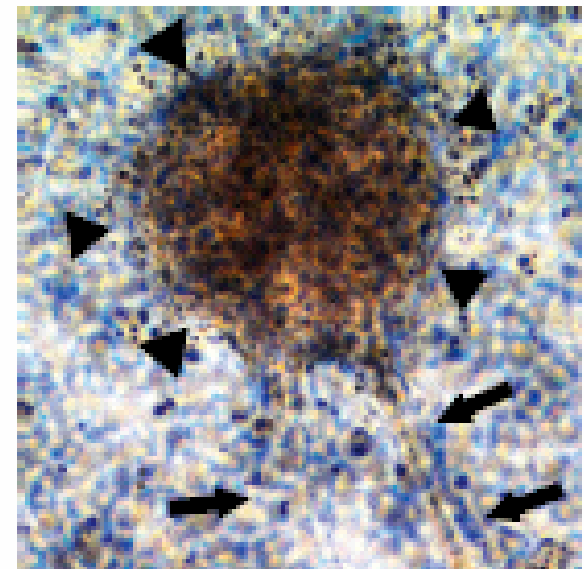


# ヒト由来の分化誘導源の開発 (羊膜マトリクス法/AMED)

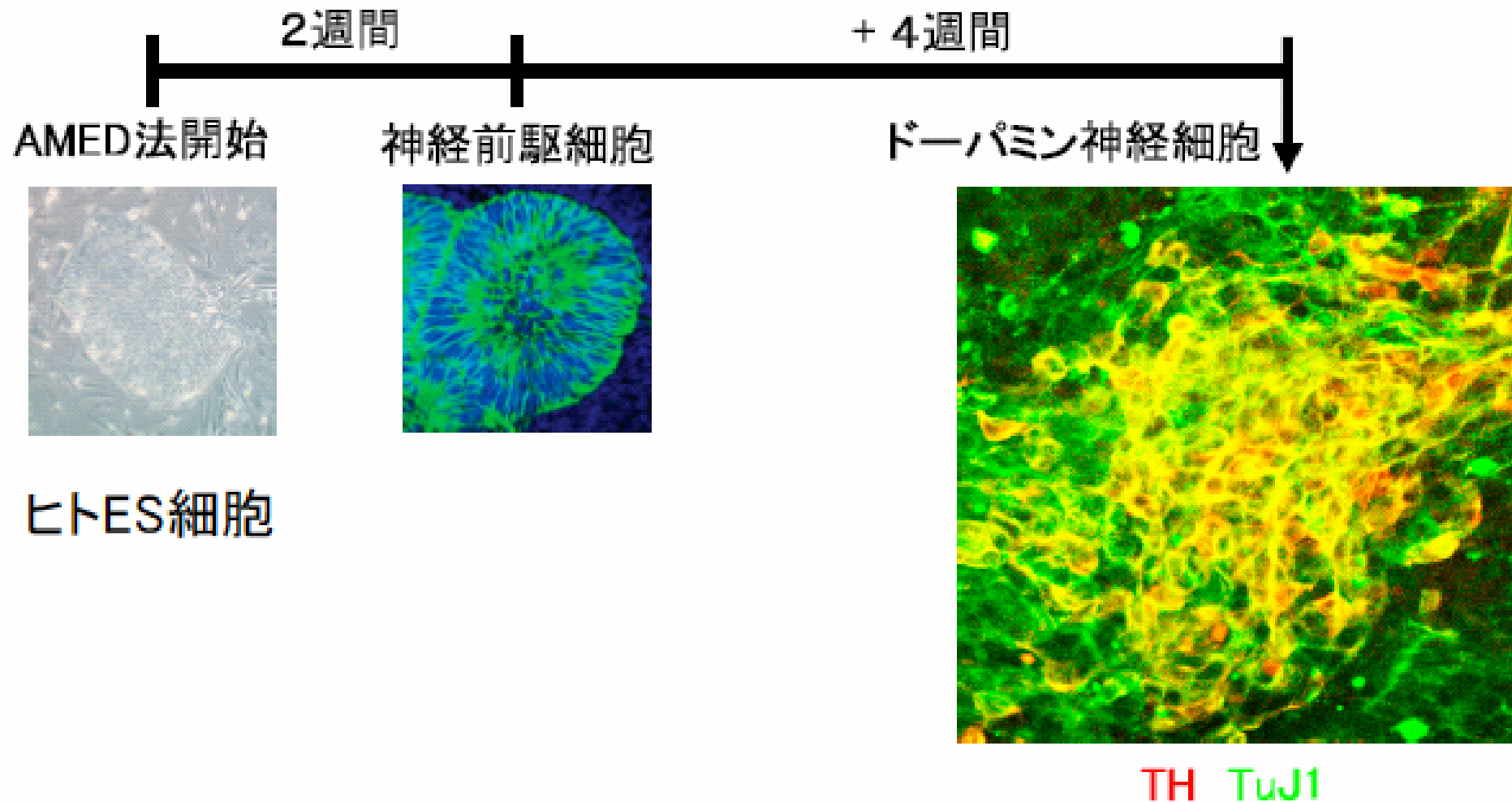


7日間



Ueno et al, PNAS (2006)

理研CDB、京都府立医大眼科



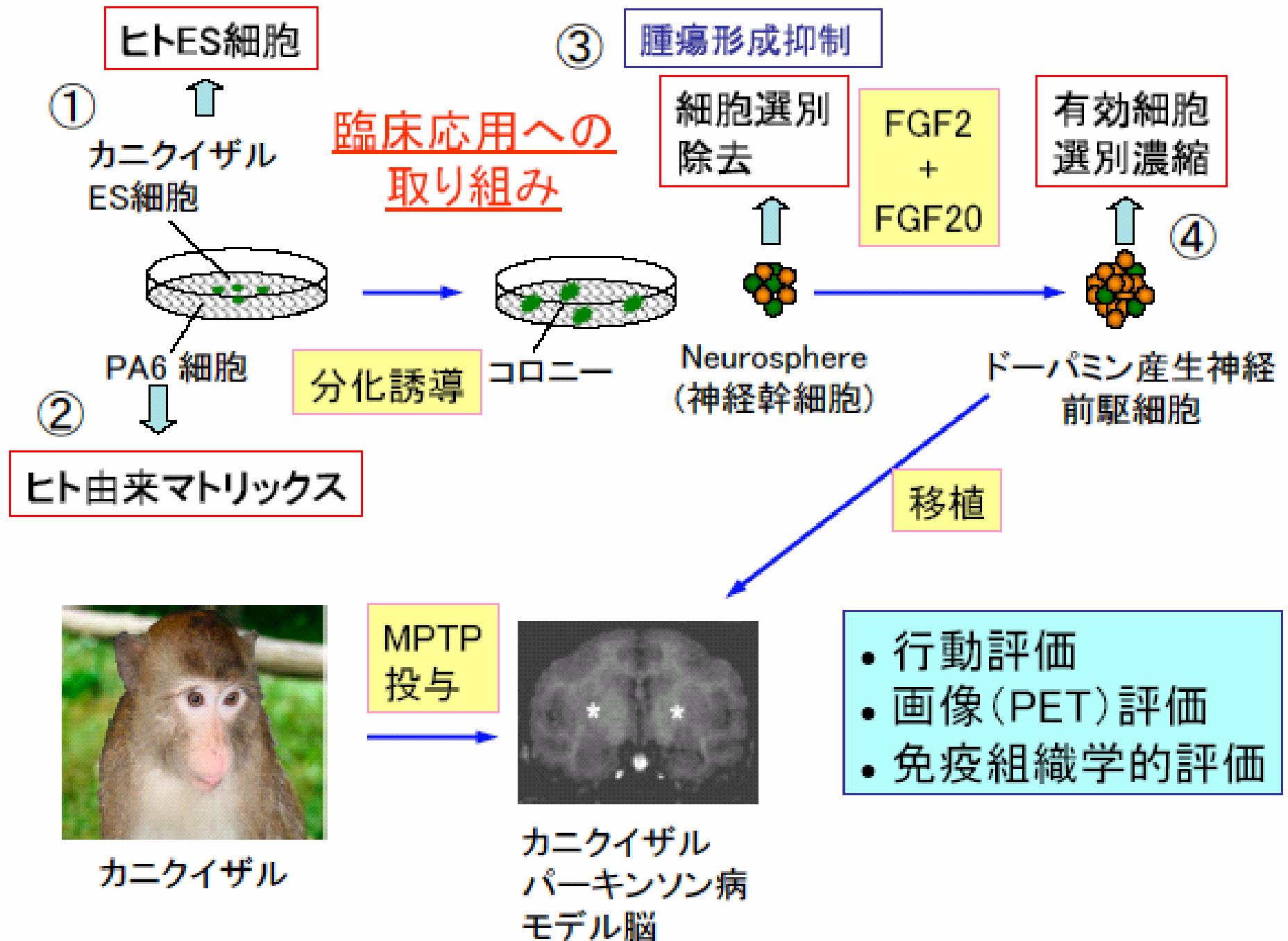
## AMED法によるヒトES細胞からのドーパミン神経細胞の産生

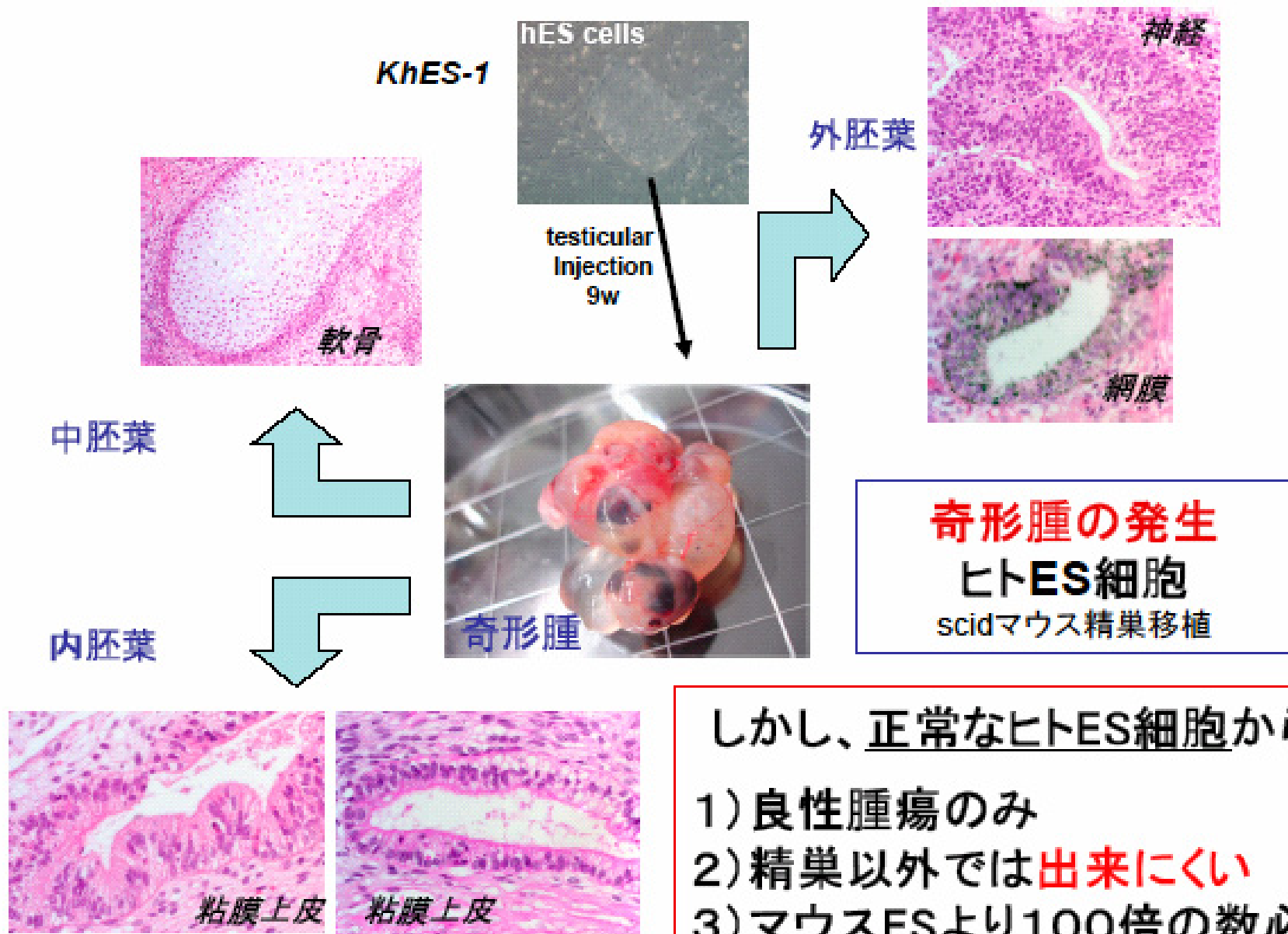
(左) 未分化状態のヒトES細胞。

(中) 神経前駆細胞に分化。

(右) AMED法で6週間培養したヒトES細胞。

多くの細胞が成熟神経細胞のマーカ― (TuJ1; 緑) を発現しており、うち3割の神経はドーパミン神経マーカ― (チロシン水酸化酵素) 陽性のドーパミン神経細胞 (黄) に分化している。





しかし、正常なヒトES細胞からは

- 1) 良性腫瘍のみ
- 2) 精巣以外では**出来にくい**
- 3) マウスESより100倍の数必要

癌遺伝子様のE-Rasが発現していないことも一因？